

健康登山者投稿作品

季節の絵手紙「ハナミズキ」

八王子市 栢谷玲子 様



一步一步煩惱減除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

七十段 いつも先に目を向けて先見性を養う

先見性とは、物事が起きる前にそのことを見抜く力、つまり結果を予想する力のことです。先見性を持っている人は、機会を生かし、危険を回避できるでしょう。視野を広く持ち冷静に観察することが肝要です。

◎健康登山の皆様へ
高尾山報投稿の御案内
御護摩受付所では、皆さまの『健康』に関する思いや思い出・習慣、又は『健康登山』を通じて経験した出来事などの心温まるお話を聞かせて頂いています。
そこで、皆様のお話を多くの方々にお届けできますように、御護摩受付所に「投稿箱」を設置致しまして、皆様から投稿頂いたお話や作品を、『高尾山報』に掲載させて頂いております。
その他、おもしろい体験・変わった出来事・ポエム・俳句等どんなお話でも結構です。是非お聞かせください。御協力宜しくお願い致します。
※ 投稿頂きました作品は全て掲載できるよう努めますが、当山の判断で掲載しない場合もあります。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございます。すことを御了承下さい。



帳面……七百円
スタンプ……百円

高尾山 季節散歩

暦の言葉 「七十二候」

地始凍

「ちはじめておる」

十一月十三日〜十一月十七日頃

字の通り「大地が凍り始める」という意味。夜は冷え込みが厳しくなり、本格的な冬の訪れがはつきりと肌で感じられる季節です。朝になると霜が降り、場所によっては霜柱がみられることもあります。

今月の風物詩 木枯らし

晩秋から初冬にかけて太平洋沿岸で吹く、強くて冷たい風のことで、「木の葉を落とし、枯らす風」を意味します。毎秋最初の木枯らしは「木枯らし一号」として気象庁から発表され、冬の到来を告げる言葉となっています。

「高尾山健康登山の証」のお勧め

年間約二百八十万人の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五万人の方々が会員となられております。
期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみください。
また、一冊に付き二十一回スタンプを押すページがあり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や健康登山者限定の記念品などと交換もできます。

高尾山内八十八大師巡拝

十月九日、約三十名の方々に参加して高尾山内八十八大師巡りが行われ、秋の訪れを感じさせる高尾山各地の御大師様を巡拝された。
先達の僧侶とともに高尾梅郷の御大師様を巡拝された。
を学びながら、道中の各御大師様に法楽をあげた。練行の際には、山伏と参加者が一体となって「南無大師 遍照金剛」と御大師様の御宝号をお唱えしながら急峻な山道を進まれた。
山上に到着し、大本堂にて御護摩修行に参加された後に、大師堂周辺の八十八大師御砂踏み霊場を巡り、昼食後には一号路の各御大師様を山麓まで巡拝し、無事に不動院に到着された。



山内の各御大師様に法楽をあげる



先達の山伏と記念撮影

第十三回高尾山健康登山親睦会の集い

去る九月二十九日(土)、第十三回高尾山健康登山親睦会の集いが行われ、約百名の会員の皆様に参加された。
波多野重雄会長と佐藤秀仁僧正による御挨拶により開会され、昼食となった。
その後は、太潘サカエさんによる二胡(中国の伝統的な弦楽器)の演奏を鑑賞し、会場は大いに盛り上がった。



二胡のさわやかな音色に聞き入る